

生活支援部だより



令和6年7月11日(木)
羽島特別支援学校
生活支援部
7月号

児童生徒がお互いに仲間を大切に、安心して学校生活が過ごせるよう「学校いじめ防止プログラム」を作成し、取り組んでいます。その取組の一部を紹介します。

○「朝のあいさつ運動」を行っています（高等部 MS リーダーズの取組）

毎週、月曜日の朝、高等部の生徒会役員が中心となり朝のあいさつ運動を行っています。生徒会役員の「1週間の始まりを元気なあいさつからスタートさせたい」という思いから始めました。登校時に、スクールバスから降りてきた仲間に向かって元気よく「おはようございます」とあいさつをすると、された方も自然と笑顔となり、あいさつを返して気持ちよく教室に向かっていきます。生徒会役員に感想を聞いてみると、「あいさつを返してくれるととてもうれしいです」と満足した様子で話してくれます。あいさつは、温かい仲間関係を築く上でも果たす役割は大きく、仲間意識が高まることで安心して学校生活を送ることもつながっています。今後も大切な活動として取り組んでいきたいと思えます。



○「ぼかぼかな仲間見つけ」活動を行っています（連合児童生徒会の取組）



連合児童生徒会が中心となり、普段の学校生活の中で見つけた仲間のステキな姿を紹介し合う「ぼかぼかな仲間見つけ」活動を行っています。仲間からされてうれしかったことや仲間のぼかぼかするステキな姿を見つけたら、メッセージカードに書いて児童生徒玄関前にある「ぼかぼかの木」に貼っています。その一部を紹介します。

「小学部〇〇さんへ いつもぎゅうにゆうパックをもっていってくれてありがとう」

「中学部〇〇さんへ 朝のあいさつを元気よくしていました」

「高等部〇〇さんへ 生単の時間に、休みの仲間の分までしおりを作ってあげて優しいなと思いました」

その他にも、日頃、伝えることができないたくさんぼかぼかなメッセージが、ぼかぼかの木に貼られています。これらのメッセージは、給食時に役員が放送で紹介しています。紹介された児童生徒は思わず笑顔を見せうれしそうにしています。仲間の良さを認め合える学校の雰囲気づくりを大切にしながら、日頃の心温まる姿を全校に広めていきたいと思えます。

◎詳しくは、右のQRコードから当校のホームページの「学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。

